m 日本国特許庁(JP)

の特許出顧公開

母公開特許公報(A)

昭63 - 195754

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)8月12日

G 06 F 12/14 G 06 K 17/00

F-7737-5B 320 U-6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

公発明の名称

端末器における外部メモリカードの転用規制方式

创特 顧 昭62-27006

顧 昭62(1987)2月6日 多出

⑦発: 明 奜 信

奈良県奈良市帝塚山南2丁目13-10

明 去 保 井 ⑦発

剛太郎 兵庫県西宮市北名次町15番22

三ツ星ベルト株式会社 包出

兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号

1. 発明の名称

端末器における外部メモリカードの転用規制 方式

2. 特許請求の範囲

1. 情報センターによって割り付けられた所定の **幽別番号を各端宋器の不揮発性メモリに費き込む** と共に、端末器で使用される外部メモリカードに 鼓端末器に登録された識別番号を書き込んでなり、 該端末器と外部メモリカードの所定の鑑別番号が 合致した場合のみ外部メモリカードにメモリされ た処理情報を再生実行及び追加配録を可能にして なることを特徴とする端末器における外部メモリ カードの転用規制方式。

3. 発明の詳細な説明

(産築上の利用分野)

本発明は規末器における外部メモリカードの転 用規制方式に係り、詳しくは情報センタのファイ ルに蓄積され、鴆末からのリクウェストに応じて 韓末聞へ伝送され、外部メモリカードにメモリさ れた額像情報を他の蝦宋器では再生出来ないよう にしてなる婚末器における外部メモリカードの転 用規制方式に関する。

(従来技術)

今日、電話回線と家庭、オフィスのテレビ受信 機あるいはパーソナルコンピュータを接続し、公 **浆通信回線網を経由して情報センターに苦視され** ている文字、図形等の画像情報をデータペースか ら検出し、送られてきた画像を見て応答すること ができるピテオテックスサービス等の公衆通信サー ピスが提供されており、夫々の利用者にはこれを 処理するためにテレビ受信機用の端末器(アタブ ター)が必要になっている。

ここで使用されている端末器は送受信用であり、 CPU(中央処理装置)、ROMとRAMの主記 **憶部、通信期インタフェースと通信回線に連結し** たモデム、キーボードあるいはキーパットインタ フェイス、セントロインタフェースとプリンタか ら構成されている。それと共に、上記端末器には、